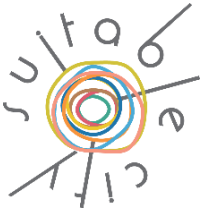


吹田市シティプロモーションビジョンの進捗状況

1 「吹田市シティプロモーションビジョン」の概要

- (1) 策定  
平成29年(2017年)3月
- (2) 対象  
全市民
- (3) 目標と方向性  
市への愛着や誇りが醸成される取組を基本とし、これらの取組が市内に浸透し、さらに向上していくことで市外からも本市へのあこがれなどの関心を持たれる

【数値目標】 市民の定住意向 70%以上  
 【コンセプト】 Suitable city (スイタブルシティ)



暮らすにはぴったりなまち  
 (暮らしにおける様々な場面がバランス良く揃っている)

- (4) コンセプト実現に向けた取組方針
  - 方針1：強みを伸ばす取組の実施
  - 方針2：多様な連携による新たな魅力の創造
  - 方針3：市民から魅力が広がる仕掛けづくり

2 数値目標の進捗状況

市民の定住意向

年度		2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
定住 意向 [%]	市民意識調査	54.6	-	57.8	-	59.8	-	61.4
	市政モニタリング調査	-	57.1	-	61.5	-	61.7	-

3 これまでの主な取組 (詳細は参考資料1のとおり)

- (1) SNS  
すいたんツイッター・フェイスブック、吹田市公式インスタグラムで本市の魅力等について情報発信。
- (2) シティプロモーション冊子、ホームページ  
シティプロモーション冊子「suitable life」の配布、ホームページ「suitablecity web」の公開など。
- (3) 吹田市情報発信プラザ「Inforest すいた」  
情報発信拠点の運営。  
吹田の魅力を体験・体感できる場所として令和4年3月にリニューアルオープン。

(4) 各部連携事業

各室課が抱える課題に関し、シティプロモーション推進室と各室課が連携し、シティプロモーションの観点を持った事業を実施。

投票済証リニューアル、ロビープロジェクターなど。

(5) プロモーショングッズ

様々なグッズの販売・配布など。

また、市公式インスタグラムでフォトコンテストを実施し、吹田の魅力的な写真を集めたカレンダー「すいかレ」を作成。

(6) イベント関係

すいたフェスタ運営補助金、シティプロモーション促進補助金など、イベント実施団体への支援。また、関係所管で開催されるイベントへの出展やすいたん出演など。

(7) 大学との連携

大学連携推進協議会の開催や市内大学との連携事業の実施など。

(8) その他

すいたん関係(着ぐるみ貸出、デザイン使用申請など)、ガンバ大阪応援関係(GAMBA DAY、スタジアムでのすいたんによる応援など)、すいたん号(ラッピングカー)運行、「まちっと北摂」での情報発信、研修の実施(動画作成等)、公共施設センスアップ業務(R4年度～)

#### 4 令和4年度の会議での主な意見

(1) SNSの発信について

- ・リーチ数を重視すること。
- ・市の魅力を1つのチャンネルで発信するのは難しい。インフルエンサーの活用等、属性にあった人に発信してもらうのが効果的。

(2) シティプロモーションの全庁化について

- ・シティプロモーションは当室だけが担うものではなく、全庁で取り組むものである。
- ・現状は全庁での取組になっているとは言えない。

(3) 研修について

- ・講義のみでは響きにくい部分もある。自身の部署で何ができるのかというところまで考えてもらえるといい。
- ・ターゲットを絞り、共感性の高い情報を伝えるのが効果的。
- ・研修も大事だが、行動に繋げるようプッシュするという観点も必要だ。

#### 5 意見を受けた取組の現状

(1) SNSの発信について

市民から様々な市の魅力を拡散してもらえる仕組みづくりを、学生と共に考案中

<テーマ>ハッシュタグキャンペーン

<展開期間>半年以上

<目標値>半年段階で、投稿数10,000件

(2)(3)の現状については次の案件(1)で説明。